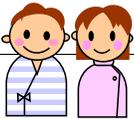
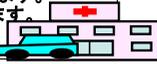


入院診療計画書(子宮内容除去術)

ID番号 @PATIENTID 氏名 @PATIENTNAME 様 @PATIENTWARD 病棟 @PATIENTROOM 号室
 病名 (他に考える病名) 症状
 担当医師 @USERNAME 印 担当看護師 担当薬剤師 @SYSDATE

月日	/ /	/ /	@SYSDATE
経過	処置前	処置後～	
目標		注意点がわかり退院できる。	
検査	 医師の指示に基づき、採血・超音波検査などを行います。	 退院前医師の診察があります。必要時、採血を行います。問題が無ければ退院となります。	
治療	看護師と一緒に処置室に移動し、麻酔をして処置が始まります。		
処置	 必要時、子宮の入り口を広げる処置を行います。	 わからないことがあれば、看護師にご相談ください。	
観察	入院後、検温、検脈、血圧測定を行います。処置中は心電図モニター、酸素をつけます。		
注射	 病衣に着替えて頂き、点滴をします。	退院が決まれば点滴を終了します。	
内服	薬剤師と看護師が内服中のお薬を確認します。	夕食後より抗生剤の内服が始まります。	
食事	 処置終了まで食事水分もとれません。	処置終了2時間後より水分・食事が可能になります。	
行動	処置前は活動に制限はありません。点滴に注意して行動してください。	処置が終わったら看護師と一緒に病室に戻ります。麻酔が完全に切れるまでは看護師が移動のお手伝いをします。お腹が痛い時や気分が悪い時は教えてください。お薬を使います。	
説明	 病棟での日常生活をご案内します。処置の前に手術同意書の確認をします。	医師・看護師より退院後の生活についての説明があります。退院時には予約票・退院証明書・退院処方箋が渡されます。退院時にはリストバンドを外します。	

注1) 病名は現時点で考えられるものであり、今後の検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。
 注2) 入院期間については現時点で予想されるものです。

特別な栄養管理の必要性	有	無
-------------	---	---

上記内容について説明を受け同意いたしました。

◆退院後の注意点

- ・ 退院後よりシャワー浴ができます。
- ・ 入浴は次回外来受診の時に確認してください。
- ・ 外陰部はいつも清潔にしておきましょう。
- ・ 性生活の再開は主治医の許可が必要です。次回外来の時に確認してください。

◆以下のような事があれば我慢せず、外来または病棟にお電話ください。

- ・ 性器からの出血が増える。
- ・ お腹の痛みが続く、または強くなる。
- ・ 38度以上の熱が続く。

みらい棟4階東病棟：024-547-1629
 婦人科外来：024-547-1226



福島県立医科大学附属病院 バス承認番号 (No.) 承認月日 (年 月 日)

署名： 続柄：